

中日・完結篇

昭和19年9月1日

紅会(?)一チル部 論述

非スト認ムルニヨリ其決議ニ對シテ特ニ回答ノ必要ヲ認メス然レモ
陸軍省ハ陸軍職工三關スル待遇等ニ關シ其狀況及將來ノ方針等ヲ明瞭ナラシム
ニ就テハ何等異議ナキテ以テ當局ノ意志ヲ明カニシ譲解ナカラシメ
第一、臨時増給即子階級増給ハ當分ノ内之ヲ繼續支給スル考ニシテ
今直ニ之ヲ撤廃ル等ノ詮議ヲ爲シアラス九時間作業ニ於テ十時
間ト同一ノ工銀ヲ支給スルコトハ實施シ難シ但シ平均收入ハ陳
情者ノ過般遞ヘタル如ク一割半乃至三割モ減シアラス事實ニ於テ
四分乃至八分位ノ割合ナリ謂貿易成ヲ廢スルコトハ工業經營ノ
全般ニ鑑ミ實施シ難シ

ント欲ス
陸軍職工三對スル待遇等ニ關シ該職工大會ト交渉ヘキモニニ
非スト認ムルニヨリ其決議ニ對シテ特ニ回答ノ必要ヲ認メス然レモ
於クル決議トシテ當時新聞紙上三掲カラレタル三箇條提出セリ
去ル七月五日前安達利、横田光一、外六名登省東京陸軍職工大會三

第三、賃與ヲ三百時間分ト爲ス等ノコトハ豫定シ得ルモニアラス
時ノ状況ニ依定マルモノトス勿論出來得ル範圍ニ於テ職工ノ福
利ヲ顧慮シツアルハ言フ迄モナシ
第二、賃與ヲ三百時間分ト爲ス等ノコトハ豫定シ得ルモニアラス
も正寺久喜也(?)川崎市立第三保育園の時
の時ニヨリ川

第三、現行諸共濟組合ノ制度ヲ見ルモ訴議員會ノ設アルハ陸軍フミ
ナリ以テ如何ニ陸軍ニ於テ職工ノ福利ヲ計リツ、アルヤ推知シ
得ハシ組合ノ職工代表者議決權ヲ與フルコトハ現行共濟組合ノ制
度ニ根本的ノ變更ヲ加フルモノニ依リ認メ難シ

其他傳染病预防ノ必要ヨリ出務禁止ヲ命セラレタル者ニ給スル日給
題等ニ就テハ豫てヨリ研究中ナリ
之ヲ要スルニ陸軍當局ハ出來得ル範圍ニ於テ職工ノ福利ヲ計ルニ努力
付終始苦慮シツツアリ決シ團体ノ運動等ニ依リモ主義方針ヲ變換

七月十一日